

生徒の携行品持ち帰りについての工夫と課題確認ボードの設置による計画的な家庭学習を促すための取組 (合志市立合志楓の森中学校の例)

置いてよいものではなく、その日の夜に勉強するものや課題（家庭学習）だけを持ち帰るよう、ルールを設定しています。また課題を各自で確認し、計画的に家庭学習に取り組めるよう、各クラスに課題確認ボードを設置しています。

【掲示資料】

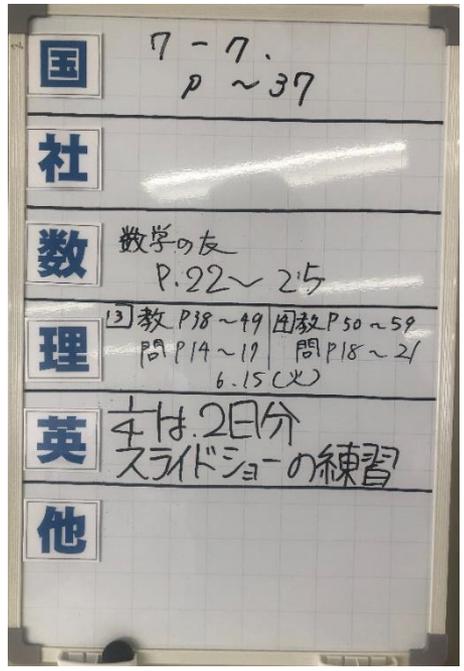
教室掲示

《教科書、ワーク等の持ち帰りについて》

先日、みなさんの携行品の重さを、曜日を変えてランダムに選出して量らせていただきました。結果は、1年生平均 4.1kg、2年生平均 5.8kg でした。（部活動のバッグは除く）

これまで教科書、ワーク等の持ち帰りについて、ルールを明示していませんでした。以下のように設定しますので、約束を守り、安心して生活できる学校を皆でつくりあげていきましょう。

- ・ その日の夜に勉強するものや課題だけを持ち帰る。
(タブレットについては別途連絡)
- ・ ホワイトボードで課題を確認し、計画的に持ち帰ること。
- ・ 紛失等が心配です。貸し借りはしない。整理整頓を心がけること。
- ・ 持ち物にはすべて記名をしておくこと。



【課題を確認できるボード】

〔工夫した点〕

○生徒自身で、計画的に課題に取り組めるよう、教室に各教科の課題（家庭学習）を一覧にしたボードを設置し、持ち帰りを各自で判断できるようにした。

○掲示や通信等で携行品の持ち帰りについて周知した。

「置き逸」も常識?!

現在 楓の森中では、その日の課題や自分が家庭学習として取り組むものと思っている教科の道具のみを持ち帰ればよい、という指導をしています。鞆に荷物を詰める段階で「家に帰ってからの自由予定」です。机について何しよう? という時間のロスもなくなるのではないかと期待しています。教室には「現在、出題されている課題一覧表ボード」も作ってもらえたので、今やるべきことが一目でわかるようになります。本当に「常識」で時代の流れ、誰かの気づきで変わっていくんですね。先日国語科で学習した説明文がそんな内容でした。こじんは最近下具体例が2020年

【学級通信】